

1. 支援する分野

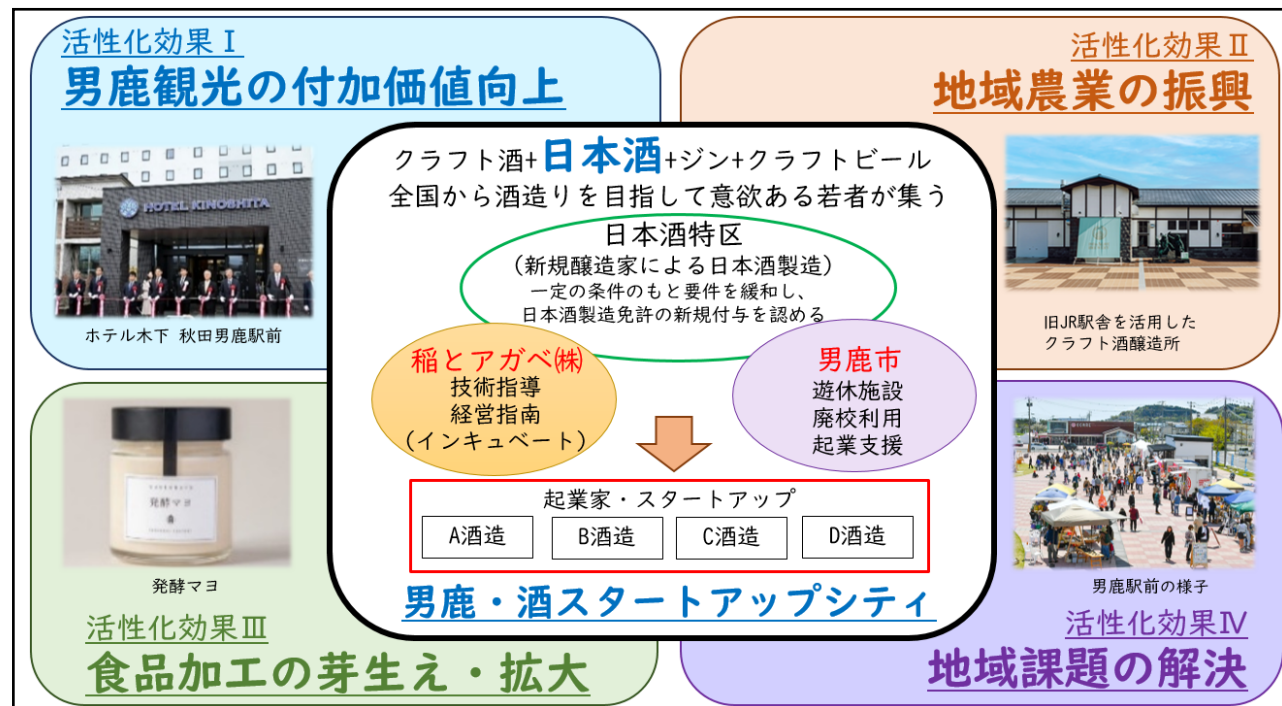
日本酒、クラフトサケ※

(※日本酒の原料である米と米麹をフルーツやハーブと一緒に発酵させた新しいジャンルのお酒)

2. 支援する地域及び核となる事業者

秋田県男鹿市（船川地区）

「稲とアガベ株式会社」及びその関連会社



3. 目指す姿（目標）

- 人口減少が進む本市において、市内に醸造所を開設した「稲とアガベ(株)」は、クラフトサケを全国的に定着させるとともに、関連事業を次々と立ち上げ、市の活性化を牽引している。
- 本市の地方創生を実現するためには、こうした動きを地域が連携・一体となって強力に推進していくことが必要。
- 「稲とアガベ(株)」を核に、酒づくりを目指す若者を広く本市に迎え入れる環境を整備することで、酒づくりのスタートアップを先駆的に受け入れる地域（男鹿・酒スタートアップシティ）として発展することを目指す姿と設定。

4. 勝ち筋

- 日本酒業界については、新規免許の取得が実質的に困難なことから、スタートアップ企業が育たない状況であり、日本酒の出荷量も激減の一途を辿っている。
- このため、日本酒づくりへの新規参入が可能な環境を整備し、本市に酒づくりのスタートアップ事業者を集積することにより、地域経済の活性化と雇用の創出、移住定住の拡大、関連産業の底上げを図る。
- 一連の取組は、酒づくり文化の継承、従来の枠を超えた新たなマーケットの開拓・拡大など、日本酒業界全体にも好影響を及ぼすと確信。

5. 政策手段

- 日本酒特区の実現
(R5年2月：国家戦略特区に提案済み)
- 酒づくりを目指す若者を男鹿に公募
- 醸造技術指導・企業経営指南
(酒づくり学校の開設等検討)
- 醸造所等の施設整備
(空き店舗や遊休施設を優先提供)
- 連携推進会議の設置・運営
(地域の関連産業が参画)
- 財政支援
(国の地域未来交付金の活用・市の単独施策で起業支援)